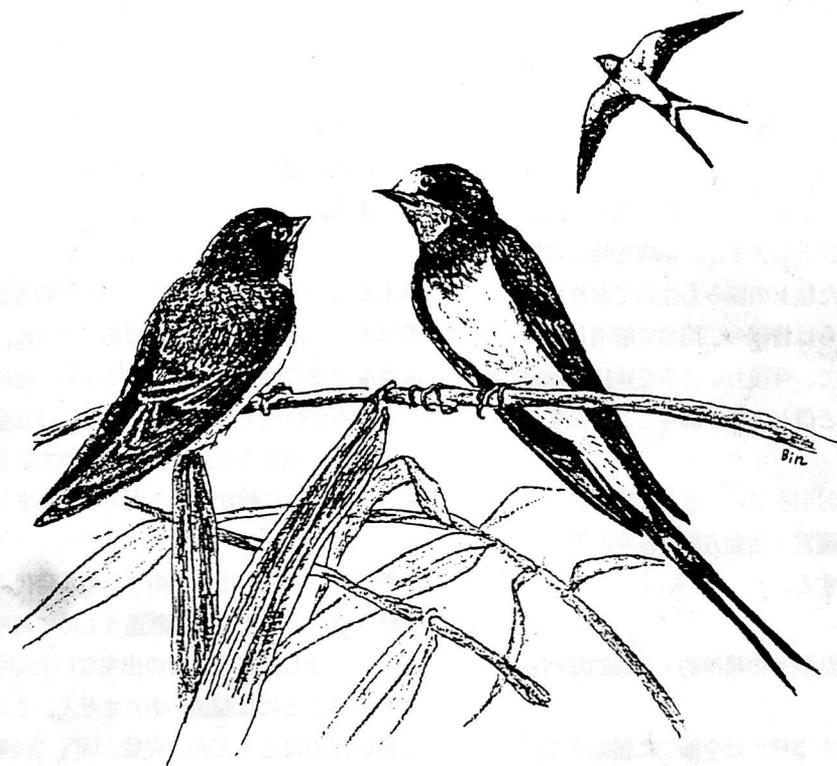


やまざと



ツバメ

会報9号（'98夏号）

- ・ 40周年記念行事案内
- ・ 納入報告
- ・ OB名簿

金沢大学ワンダーフォーゲル部・OB会

総会開催ご案内 この5年に思うこと

OB会会長 13期 大島 良治

早いもので、ワングルOB会が結成されて、もう5年の月日がたちました。「5年毎にOB総会を開催する」とのOB会会則第9条に則り、本年9月、医王山の麓「医王の里」にて、ワングル創部40周年記念事業と同時に、OB総会を開催致します。会員の皆様には万難を排し、是非参加下さるようお願い致します。

この5年間、OB会を維持してこれましたことを何よりの喜びとしますが、結成当時には思ってもいなかった種々の悩みも生じております。とはいえ、それらは皆様のご協力で解消していただけることであって、今後もOB会を維持・継続していただけるものと信じ、かつ願っております。

OB会会長をお引き受けしました当時のOB会結成理由や、運営・活動方針の基本的部分を再確認してみますと、

<結成理由>

1. 現役部員の活動への精神的・金銭的なバックアップ
(特に、非常事態には全面的に援助する)
2. 現役部員と500名以上のOBとのスムーズな連絡網形成
(500名以上のOBに連絡する労力を現役に負担させるのはあまりにも気の毒。かつ、行事参加OBのみが全連絡費を負担するのも不条理)

<運営方針>

1. OB会を将来に渡って運営するためには、全てのワングル卒業部員をOB会員と考える。不本意ながら会員となっていたとしても、会費納入以外の制約はない。しかし本人の自発意志による脱会、その後の再入会などは自由である。



2. 会費に関しては全OB会員に納入をお願いする。会員の唯一の義務であり、会の運営上の根本の一つである。

3. 連絡・案内等は全OBに行う

<活動方針>

1. 年に1-2回会誌を発行し、全てのOBと連絡を図る。
2. 年に数回行事を企画し、OB間、OBと現役間との親睦の場を作り、全てのOBに案内する。

以上となりますが、この5年、幹事の方達の苦勞は本当に頭の下がるものでありました。どのような小さな会でも、作ることより、維持することの方が何倍も難しいものです。OB会もそうであり、現実の生活とはかけ離れている分、さらに難しさに輪がかかる面もみられました。

青春時代の思い出の中のワングル時代の占める割合は、人によって当然違うものでありましょう。しかし、失うことの出来ない大切な思い出であることには間違いありません。この大切な思い出のほとんどが、先輩、同輩、後輩にまつわるものです。景色その他の思い出は、そんな方達と語り合う時、克明に湧き出て、共に懐かしく浸りあえるものとなりましょう。

OB会は皆様方の思い出の中にある人達を、会誌の発行、行事の開催という手段で、目の前に出現させる手品師の役目もしております。

現在のOB会の姿に少々不快感を持っておいでる方があるとも聞いておりますが、前述のとおりであって他意は全然ありません。会の維持は現実的、事務的に行わねば進められないものであり、玉虫色では実際の維持はやっていけないように思います。

この5年間の経験、及び反省を踏まえ、OB会を今後も発展させなければなりません。その為には皆様方の変わらぬご協力が必要です。とりわけ、金沢在住のOBには、執行部に入り、活動の一端を是非担っていただきたいと思っております。

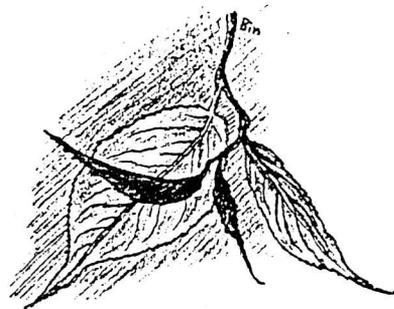
来る9月のOB総会にて、新執行部が提案、そして承認され、新体制が発足する手筈です。新執行部もまた、言語明瞭・意味不明とされた<ワンゲル理念>に基づき、会の維持・運営を

行うものと思います。私が先輩より教えていただいた<ワンゲル理念>が次期執行部には間違いなく受け渡せますようで、嬉しく思います。

この5年間、ワンゲル部員に再度なったような心楽しい時間を持つことができましたのは、OB会と、現幹事の皆様のお蔭と、感謝しております。本当にありがとうございました。

新執行部のもとでのOB会の益々の発展と、皆様の御健勝をお祈りして、筆をおきます。

平成10年6月28日



40周年記念行事へのお誘い

金沢大学ワンダーフォーゲル部41期主将

佐藤 豪一郎

金沢大学ワンダーフォーゲル部も今年で40周年を迎えました。そこで今回は医王の里にて、記念行事が行われることとなりました。

今は遠方にお住まいの方も、この機会に学生時代へ思いをはせてみてはいかがでしょうか。

先輩方が現役だったころの話を聞かせてください。

先輩！ お待ちしています。

KUWV OB各位

1998年7月

KUWV40周年実行委員会

拝啓

海・山の季節の到来、OBの皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年創部40周年を迎える金沢大学ワンダーフォーゲル部の記念事業が、下記の通りに決定いたしました。なにとぞよろしくご協力・ご参加をお願い申し上げます。

参加の申し込みは8月10日までに同封の葉書でお願いいたします。

敬具

記

1. 総会

期日 9月12日(土) 午後4時-5時

場所 金沢市大菱池町 医王の里「森の家」(二階 研修室)

(総合案内所 ☎076-229-1312)

2. 記念事業

(1) 懇親会

期日 9月12日(土) 午後6時-(10時)

場所 医王の里・運動広場 雨天の時: 森の家

内容 キャンプファイヤー・アトラクション・各期スタンツ・歌など

(2) 記念山行

期日 9月13日(日) 9時- 雨天の時: 中止or大池平散策

A: 医王の里-白兀山-医王の里(昼食) 午前11時半解散

B: 医王の里-大池平or三蛇ヶ滝(昼食) -トンビ岩-白兀山-
しがら頸-医王の里 午後2時解散

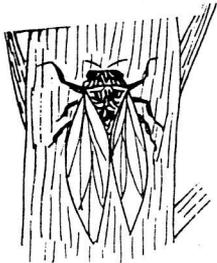
C: 医王の里-大池平or三蛇ヶ滝(昼食) -トンビ岩-白兀山-
奥医王山-しがら頸-医王の里 午後4時解散

(3) ワンゲル歌集発行

総会時に配布(欠席者へは後日郵送配布)

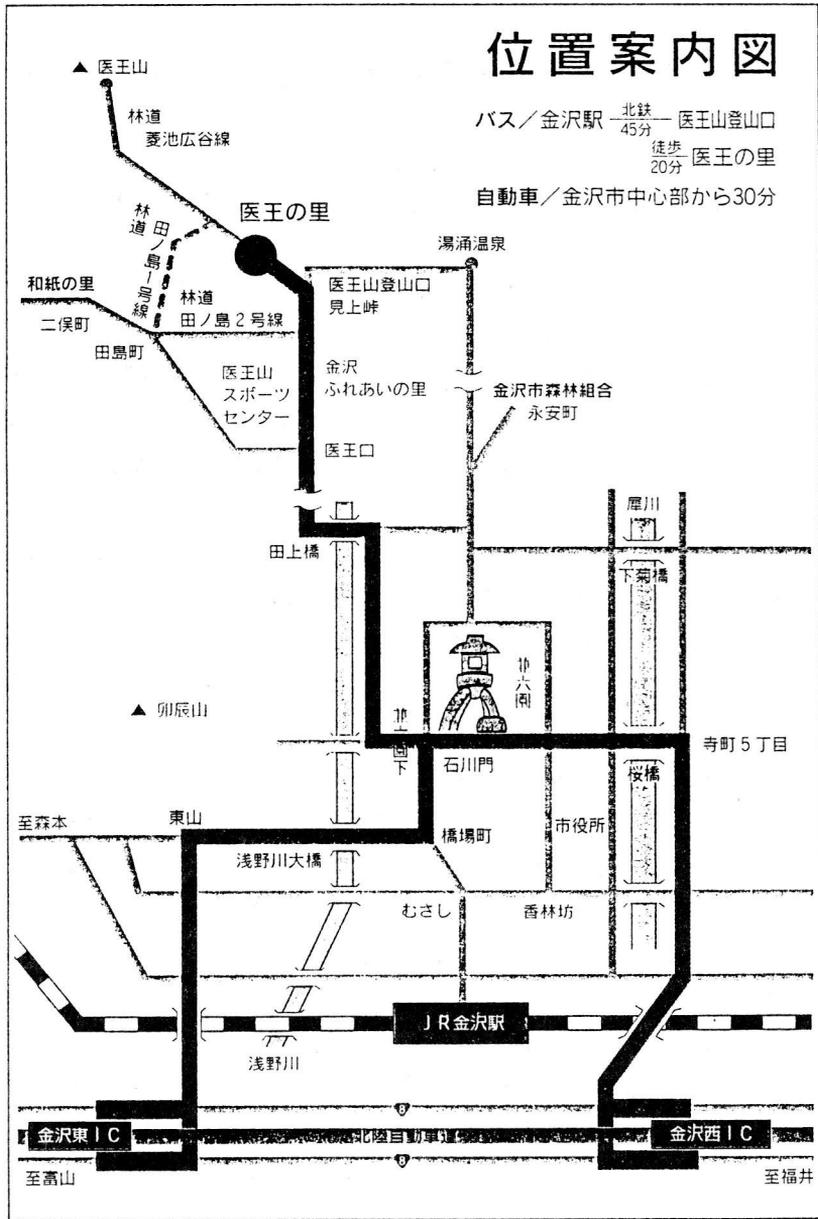
3. その他

- (1) 宿泊 森の家 研修室(畳敷大部屋) シュラフor毛布利用 100人程度可
バンガロー 5人×10棟
貸しテント 5人用多数有り
- (2) 食事 9月12日夕食 13日朝食 昼食・行動食までを用意
- (3) 費用 大人5,000円 小人(中学生以下)2,000円
(宿泊費+食費+その他の装備+現役分の経費)
当日受付にて集金
- (4) 交通 北陸鉄道バス (大人550円) (金沢駅-医王山見上峠所用1時間)
駅-金沢駅、ス-スポーツセンター前、見-医王山見上峠、園-公園下
行き 駅7:52発(ス) 園13:25発(ス) 駅15:45発(見)
の3本のみ
帰り ス7:20発(駅) ス8:52発(駅) ス14:10発(駅)
見16:46発(駅) の4本のみ
<スポーツセンター(徒歩15分) 見上峠(徒歩25分) 医王の里>
・上記のようにバスの便が悪いため、自家用車相乗りでの参加をご相談下さい。
(駐車場多数あり)
・実行委では 希望の方に車の手配を行います。
午後3時 小立野工学部キャンパス門前にご集合下さい。
帰りは参加山行グループの下山時刻に合わせ手配します。
- (5) 装備他 キャンプ泊一般装備をご準備下さい。
山行参加の方は日帰り山行の服装・装備をご準備下さい。
- (6) その他
・参加申し込み者には8月末、別途ご案内をさしあげます。
・お問い合わせは下記実行委員まで
椿川 利弘 (18期) ☎076-275-3380 (自宅・夜)
舟田 節子 (15期) ☎076-222-9288 (自宅・一日)



位置案内図

バス／金沢駅 ^{北鉄} 45分 医王山登山口
 徒歩 20分 医王の里
 自動車／金沢市中心部から30分



● 利用申し込みとお問い合わせ ●
 「医王の里」総合案内所
 (〒920-11) 金沢市大菱池町 TEL29-1312
 金沢市森林組合
 (〒920-13) 金沢市永安町77 TEL29-1131

日程・会場決定の経緯

5年前、従来通り白山山行が記念行事とされ、悪天の為中止となったことをご記憶の方もあるかと存じます。

当時も30余名の実働現役に対し、参加希望は家族を含め94名。南竜山荘泊まりを原則とし、テント泊の方も山荘の食事を利用、昼食は下山してから永井旅館で素麺など、チーフ梅さんを始めスタッフの智恵を絞った対応が計画されました。目の回る思いをしたあげくの悪天中止。すでにキャンプファイヤーも認められなくなっており、「もう白山を会場とすることは無理」が反省でした。

そのうに白山の宿泊設備は予約制にもなりました。予約金がある訳ではありませんが早い時期に人数を確定するのは難しく、役員ですら春の異動などで見通しがたちません。

白山の麓を懇親会場とし、天候を眺めての日帰り登山の案もありました。その場合はキャンセル料がかかってくる宿泊施設になりますし、登山をしない人まで不便な白山麓に集める必要があるのかの疑問が出てきます。

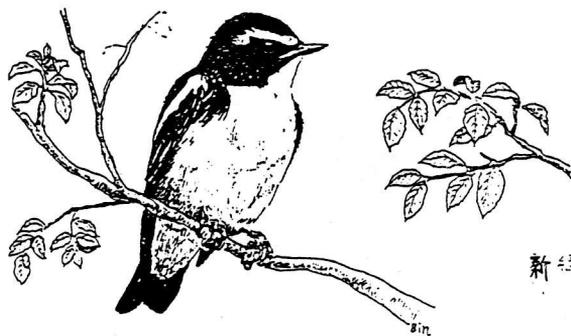
以上の理由により、「白山」は対象としないことになりました。どうしても登りたい方は、個別にお誘い合わせのうえ、天候も判断されてOB会行事とは関わりなく登られて下さい。尚、来年より室堂改築が始まり、3年間は食事の提供がなくなる見込みです。

倉谷会場案も、雨天の対応ができない。一切を人力で運び込まねばならない。不足装備をどこかから借りてこななければならない…で却下されました。

日程については、夏休み中はこれだけの規模の人数でのキャンプ場確保は無理。と、夏休み明け早々の土日で確保することになりました。

以上の経緯で、医王の里が雨天の対応が可能（屋根付き大会場がある）キャンプファイヤーができ、ワンゲル気分を味わってもらえる。必要装備が現場で借り出せる。現地までの送迎が容易。食糧の搬入も容易。白山と同じくワンゲルにとって十分懐かしい場所。誰もが参加し易いことが、総会開催のために重要なことと選定されました。

他の件もそうですが、役員達は時間をかけて、あれこれを検討して、この案・このやり方の決定を行っています。どうかご了解の上倉倍40周年にふるってご参加下さい。



新緑のキビタキ